

第7期寒川町まちづくり推進会議 第4回会議（書面開催） 委員からの意見

※表現を一部変更して記載している箇所があります。

※回答の提出順に並べております。

議題1 (仮称) いまここマップの作成について			
前回会議の意見を基に、事務局にて「第5次さむかわ男女共同参画プラン」を具体例にし、いまここマップを作成いたしました。御意見願います。			
意見種類	委員名	要旨	補足
改善案	半澤委員	<p>今後の改善ポイントが見いだせません。下記の追加が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さむかわ男女共同参画プラン」⇒計画概要の追加 ・結果系⇒アンケート集計、公募委員募集、パブリックコメント集約結果で有効なもの、改善が必要なものを追加 	
	上山委員	<p>すっきりしていてとても見やすく、分かりやすいです。見栄え上での細かな改善案は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1. 総合計画の位置付け」は「2.」にして補足情報的な扱いでもいいのではないか（「皆さんの意見を1にしてメインとする） ・[皆さんの意見]の中にパブコメが入っているが、時系列上は最後にあたるので、[皆さんの意見] ⇒ [計画の策定]と矢印がつながっているのは少し気になる → 矢印は無くてもいいかも？ ・[皆さんの意見]今回は委員募集が目的なので「審議会等の委員募集」を目立たせる ・『今回使用しない意見聴取の方法』は細字にするかもっと小フォントにして、今回使用するものとし、しないもののメリハリを付ける ・マップについて <ul style="list-style-type: none"> ◇柱「現状を把握します」と「広く皆さんの意見を…」は1本にできそう →「皆さんの意見を伺います」とし、アンケート郵送（1000人）【現状把握】、パブコメ【計画の最終チェック】等と書いてもいいのでは ◇公募委員の説明「方針を検討できる数少ない権利」…言いたいことは分かるが、「方針・内容を検討する会議に参加できます」等、もう少し優しい？表現がないか ◇計画の最終確定は推進協議会か、町議会か？知りたい 	

		<p>◇「議会」→「寒川町議会」として太字等にして、議会の役割をPR</p> <p>◇柱の最下部に「計画開始」と斜線やベタ塗りするとゴールが分かりやすい。</p>	
	平本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすくなったが、公募委員が年に4回募集かけていることを記載した方がいいのではないかな。4回も募集しているタイミングがあることがわかると良いのではないかな。 ・人のイラストのコメントと「公募委員3名募集⇒集まらず」の配置が重なってしまっている。重ならないようにするべきでは。 	
	千葉委員	<ul style="list-style-type: none"> ・意見聴取の方法の振り返りがあっても良かった。 ・第5次計画開始後のスケジュールも少し記載が必要か。 ・資料の在り方として、令和3年2月現在から見のものだと思い、多少わかりづらかった。 	
	菊地委員	<p>よくおつくりいただきましたと思います。総合計画上の位置づけの順番は後でもいいのかなと思いました。参考情報として、この施策（共同参画プランの作成とそれに基づいた各施策の推進）の根拠となる法令等、また公募委員の根拠法令等（自治基本条例）が示されると、法律や国の計画、自治基本条例等の町の条例などが具体的な政策にどのようなかかわっているのかがより立体的に理解できるようになるのではないかと思います。</p> <p>使用しない意見聴取の方法については、なぜ採用しなかったのかが記されるべきか、あるいは使用しない方法については載せる必要がないかもしれません。</p> <p>吹き出しの中身は、権利ではなく機会でしょうか。</p> <p>次、あるいは将来についても短く付け加える必要はないでしょうか。プランの確定、その後プランに基づく施策の展開、○年後にプランの見直し予定、等。</p>	
	杉下委員	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストの吹き出しの下に何か書かれているが、かぶっていてわからない。 ・R2.2月～3月審議会について2月中旬等の記載があった方が良い。記載がないと議会報告の後に議論すると思われる。 ・R元年度の審議会は公募以外に会議での議論はされていない様に見える。 	
修正等 なし	加藤委員	<p>今の段階などが分かりやすくなっており把握しやすくなっていると思います。</p> <p>特段修正等の意見はありません。 など</p>	
	落合委員		
	武藤委員		
	相田委員		

議題1 (仮称) いまここマップの作成について

いまここマップの今後の展開(具体的な利用の仕方)について、御意見願います。

委員名	要旨	補足
半澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・町が計画、実行に当たり、町民からどの段階で、どの方式で意見を聴取し反映するか、担当毎にバラツキ無く実行する為のマニュアルとして活用する。 ・意見を聴取する方式は、計画の規模(金額等)によりガイドする必要あり(アンケート、公募、パブリックコメント他) ・併せて、パブリックコメント等の展開時に、本マップを添付する事により、町民もまだ意見が反映される時期だな等の判断が可能となる。 	
上山委員	<p>パブリックコメントや審議会等の意見公募のチラシと一緒にして、各施設で配布する。 →良いと思います。</p> <p>加えてチラシを見ない人の目にも触れるように、いまここマップ全体図の部分だけ画像化して、twitter や町のホームページに掲載する。</p> <p>その際はフェーズが進むごとに画像も更新・差し替えし、更新日も明記する。更新したことも SNS でお知らせする。もしできれば、町の広報紙にも(毎号でなくても)掲載したい。</p> <p>その時は1つの計画を1本柱だけにまとめて、複数の計画を横並びに柱にして一枚のマップに収めると良いのではないか。</p>	
菊地委員	<p>使い方の目的は、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 町民へのプロセスや情報の可視化・見える化により説明責任の強化のため一緒に配布、ホームページでの公表 ② 役場内での進行管理・業務プロセスの見える化(内部向けは少し細かくてもいいかもしれません)、の二つがあろうかと思います。 <p>ホームページ上で、いまここマップのひな型に各施策や事業の状況の位置がプロットされており、そのうちの一つをクリックすると今回の男女共同参画プランのように「これまで」、「今」、「これから」が一覧性とより細かい情報をもって示されるインタラクティブマップのような構造になるといいと思います。</p>	

	<p>今回推進会議がチャレンジしている政策プロセスの見える化は、大阪市や大阪府の例、あるいは会津若松市の議会の例以外はあまり例のない、大変ユニークなチャレンジだと思います（別紙資料参照）。かつて評価ツールの導入が進んだときに PDCA サイクルがよく言われていましたが、まわすことや成果（のみの）可視化に主眼がおかれ、プロセスの見える化や可視化に重きをおいた取り組みは少ないです。</p> <p>施策のはじまりや進め方は一定のパターンがありつつも多様ですので、汎用性がありかつあまり大雑把ではないひな型のプロセスをつくれるか（寒川で行われている施策のプロセスのほとんどをマッピングできるか）がカギとなると思います。</p>	
加藤委員	<p>例文にある内容はすごく良いと思います。いまここマップがどういうものなのか、何をしたら知ってもらえるか、何を伝えたいかを明確にしていけてらいいと思います。</p>	
杉下委員	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシに募集ページにアクセスする二次元コードをつけてみる？ ・ホームページに審議会等募集の一覧を作ると良いのではないか（例 大和市） <p>→過去の募集実績や今後の募集予定も掲載することで、真に自分に適している審議会の発見につながる。募集時期等の問題により応募できない住民もいると思う。そういった住民のために、次回の応募時期を掲載する。</p>	

議題2 寒川町まちづくり懇談会について

寒川町まちづくり懇談会をコロナ禍における実施方法について、御意見願います。また、これまで資料でお示ししてきたまちづくり懇談会の課題の解決も考慮して御意見いただけますと幸いです。

意見種類	委員名	要旨	補足
実施方	半澤委員	若年層、中高年層に向けて、2方式の展開が必要。中高年は zoom, Youtube は、無理(少なくとも私は)。書面、パソコン等の併用が必要。	
	上山委員	○いい季節に中央公園で（土日に）やる →屋内での密を避け、色々な人への PR も兼ねる	まちづく懇談会で出された意見等は、各課へ共有し、

<p>法 ・ 具 体 な 運 営 方 法</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ステージとマイク、スクリーンかホワイトボード or 模造紙パネル、パイプ椅子を用意 ・参加者は事前に募って来てもらうが、公園にいる人が途中から加わることも可とする ・スクリーンには「まちづくり懇談会」タイトルや、議題・意見を随時書き出す ・SNS で「いまやっています！」と一言でも発信 ・懇談会終了後は懇談会内容の公開日・方法、次回の懇談会予定を掲示 <p>○今回の資料にあった、今までの懇談会記録を見て…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政でも一般参加者でもない第三者のコーディネーターが必要ではないか ・テーマはあるものの意見がバラバラで、町の対応も出来ていないものが多く浅く終わる印象がある <p>→コーディネーターに出てきた意見を分類・整理してもらい、優先順位をつけて、その場で少しでも深掘りできないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後、コーディネーターがまとめた結果について行政はその後の対応を回答する（できればいつ、どこで検討を進めるかなど） ・その後の経過報告を公開する方法に参加者に伝える（ホームページの URL、広報〇月号など） ・広報臨時号として広報紙に別紙で 1 枚付けてもいいのでは ・議題の 1 つは、できれば町がすぐ具体的に動き出せる課題（テーマ）を選んだ方がその後の経過がはっきりしてやりがいを感じられる <p>○○公園の整備について、○○道路の整備について等、計画検討開始時の住民アンケートを取るような段階のもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別の議題として、今回のテーマ以外の次回懇談会につながるようなご意見をうかがう 	<p>各課の回答を取りまとめた後に、町ホームページに掲載しています。</p> <p>また、その後の対応状況等についても調査し、年度末に議会へ報告しています。</p> <p>実現できていない要望等についても、各担当課で把握し、今後活かしてもらうよう呼び掛けています。</p>
	<p>平本委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり会場で面と向かって話をし合うのが一番良い。リモートや Youtube だと、参加者層が限られてしまい、高齢者は参加しづらい。今後社会情勢がどうなるか不明確であるが、集まれるタイミングで実施するのが良いのではないか。 ・集まれず実施できない中で、どうやったら実施ができるのかという話であれば、リモート等の技術の利用しかないと思う。 	
	<p>菊地委員</p>	<p>Zoom 等、オンラインでの開催はぜひ検討してほしい。これまでの参加者とは異なる層の参加を期待できる。加えて、Zoom の場合は必ずしも「住民」に限る必要はないので、過去の住民（元町民）</p>	

		<p>や寄付者（広い意味でのステークホルダー）への参加を呼び掛けるなども可能ではないか。</p> <p>オンライン参加が容易ではない高齢者等には、Wifi スポットの提示や町内各施設をつないだ開催など、密にならないかつこれまでと異なる参加者が入ったやり方が両立できるのではないだろうか。</p> <p>テーマについては、やってきたことの報告よりも、これからやることの話がいいのではないか。そこで受けた意見や要望はパブコメのインプットとして記録して対応策を後日パブコメ結果とともに公開する、という形での先行パブコメ受付という位置づけでもいいかもしれない。</p> <p>あるいは、まちづくり懇談会の開催内容や共催相手を公募してもいいかもしれない。「みんなの花火の今後について」を実行委員会と共催で懇談会を開催したり、寒川高校へ開催の枠を与えて検討するなど。</p>	
	加藤委員	<p>コロナ禍で集まることができないのであれば、やはりオンライン等になるのではないかと思います。しかしながら、高齢者にはオンラインでの参加がしにくくなると思います。</p>	
	杉下委員	<p>令和3年度は実証実験の年度とし、2パターンでの開催</p> <p>① 対面方式</p> <p>直接町長に意見を言える貴重な機会であるが、声の大きい人に流される事例が見受けられ、せっかく参加した人も不満で終わってしまう。</p> <p>→進行役を行政ではなく、町民側（例えば、まちづくり推進会議委員）が行い、発言の機会の公平性や時間の進行管理を意識して行ってもらう協働体制を行う。</p> <p>② Zoom方式</p> <p>コロナ禍を気にせず、また、わざわざ会場に行く手間をなくせ、天候不順の時など会場に来ること自体が大変という問題解消もできる。</p> <p>同時発言や誰かが一方的に発言することはNGにしたり、顔出しをしなくても可にするなどのルールを事前に告知、説明することで当日の懇談会がスムーズに進められる。Zoomの使い方は審議会に限らず、今後町民への情報発信に必要なツールと考えられる為、Zoom講習会は町の事業として開催することが望ましい。</p>	<p>Zoom 講習会について、公民館の自主事業として実施している実績があります。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 令和 2 年度はコロナ禍のため、懇談会が開催できなかったことは町民にとって貴重な機会を失わせた損失と言えます。例にある Youtube など意見に応じていく方式は町長への手紙の制度での実施がいいかもしれない。 <p>令和 3 年度はコロナを克服するために、まさに協働が求められている時期だととらえ、アフターコロナ含め、できないことを考えるのではなく、できることから行い、かつ、トライ&エラーの検証年にすべき</p>	
懇談会の在り方	半澤委員	<ul style="list-style-type: none"> そもそも懇談会の名称からくるイメージは、ざっくばらんに話し合う感がある。その会合で有効な企画、実行を求めるのは無理があると思われる。このまま進めるのであれば、懇談会からは、有効と思われるテーマを拾い、企画、実行する人は、別の経験者、有識者で進める必要がある(その人は町政、町民どちらでも可) 	
	千葉委員	町民から町長への一方通行ではなく、双方向のやり取りを実現するにはどうしたらよいか。言いつばなし、聞きっぱなしを避ける方法を日頃から考えておくべき。	
懇談会での意見について	半澤委員	<ul style="list-style-type: none"> 懇談会の意見をみると、中には良いものもありますが、どの様に扱っているか？単発処理？あるいは、データバンクに入れ今後の活用に生かすのか？後者が望ましい。 	<p>まちづく懇談会で出された意見等は、各課へ共有し、各課の回答を取りまとめた後に、町ホームページに掲載しています。</p> <p>また、その後の対応状況等についても調査し、年度末に議会へ報告しています。</p> <p>実現できていない要望等についても、各担当課で把握し、今後活かしてもらうよう呼び掛けています。</p>
	平本委員	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり懇談会で出された意見は活かされているか。 	

その他

今回の書面開催でのやり方、または、議題に関わる事以外で御意見がありましたら、御記入願います。

意見 種類	委員名	要旨	補足
議題 について	半澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今一度、今期取り組みテーマを明確にし、一つ一つに集中し論議を進めたい。 ・町政への参画、町民の意見を聴取する制度(一覧表)の意味は、テーマを絞り込む目的で作成したものと理解しているが、明確な結論がない。 	
書 面 開 催 に つ い て	上山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が届いてから意見提出までの期間はできれば2週間欲しいです。 ・私個人のことですが、平日はゆっくり意見を書けず、土日も予定が入っていると回答する時間がないので…土日が2回あれば(4日チャンスがあれば)ゆとりがあります。 ・会合にする時も事前に意見提出してもらい、当日話を本人に振ってもらいたいのもいいのではないのでしょうか。…当日まとめるのが大変でしょうか^^; 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料送付時期について 対面、書面関わらず、出来る限り2週間前までに送付できるように努めます。 ・事前の意見提出について 会長と相談し、今後の会議の進め方の一つとして、検討いたします。
	加藤委員	<p>意見交換ができればもっといい案がでると思います。書面での提出だけでは他の人の意見を聞けないのでどこまで進んでいるのか分かりづらいと思いました。</p> <p>老若男女みんなの意見が聞ける、言えるようないい方法があればと思います。</p>	